

問1 次の計算をせよ。

- (1)  $\frac{1}{2} + \frac{1}{4} + 0.25$
- (2)  $(3+4) \times 5 - 33$
- (3)  $4^2 - 10 - \sqrt{9}$
- (4) 50 の 8%
- (5) 25 の 2割

問2

2点 (2,2)、(5,6) を通る直線を求めよ。切片、傾きは分数であらわすこと。  
(SPI問題集より)

問3 タクシーの料金が一律1%上がったとする。値段が上がることで、客一人当たりの単価が上がるが、利用客数が減少することも考えられる。このタクシー会社が売り上げを増やすためには、どのような条件が必要か。「タクシー需要の価格弾力性」という言葉を使って説明せよ。

問4

所得	300	400	500	600	700
消費	250	300	350	400	450

(1) 消費が所得の1次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得を Y、消費を C として式で表わせ。切片や傾きには数値を入れること。

(2) 所得が 500 のとき、平均消費性向 (C/Y)、限界消費性向 ( $\Delta C / \Delta Y$ ) はそれぞれいくらになるか。

問5 名目賃金を W、価格を P、生産量を Y、労働投入量を N とする。「実質賃金は労働投入量の限界生産力に等しい」という内容を式で表わせ。

問6 1年後の 105 円の割引現在価値はいくらか。利率は 5% とする。

問7 需要面からみた GDP ( $Y_d$ )、供給面からみた GDP ( $Y_s$ )、所得面からみた GDP ( $Y_I$ ) が次の関係にあるとする。

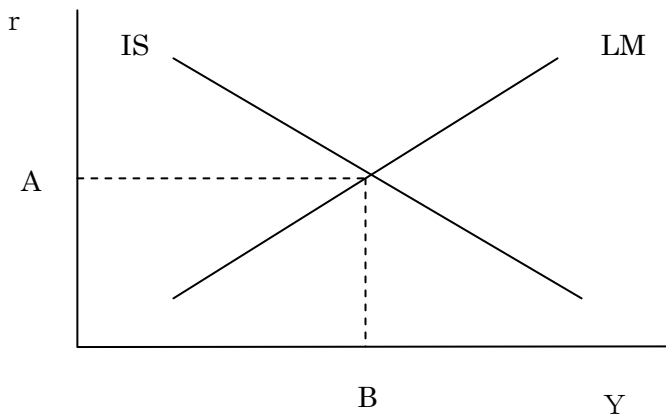
$$Y_d = 300 + 0.6 Y_I$$

$$Y_s = Y_I$$

3つの GDP が一致する水準はいくらになるか。

ヒント：三面等価の原則を使う。

問 8

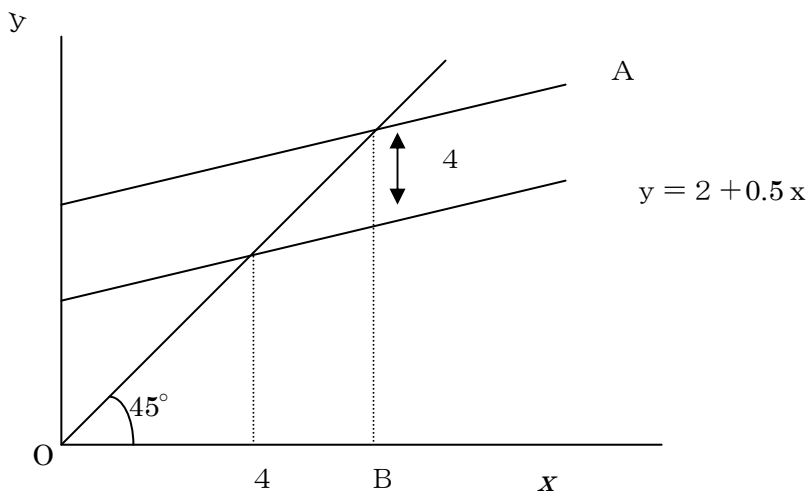


直線 IS が  $r = 10 - 0.4Y$   
 直線 LM が  $r = -2 + 0.6Y$

のとき、次の値はいくらになるか。

A=  
 B=

問 9



- (1) 直線 A を式で表せ
- (2) B の値はいくらになるか

問 10 限界効用が逓減するとはどのようなことを意味しているか。ケーキを例にとって説明せよ。